

『この国どんな国？』



各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。

今回ご紹介する国は
「アラブ首長国連邦」



第12号(2008年11月17日)

アラブ首長国連邦の基本情報

アラブ首長国連邦(以下「UAE」)は、アブダビ、ドバイ、シャルジャ、アジュマン、ウム・アル・カイワイン、ラス・アルハイマ、フジャイラの7つの首長国からなる連邦国家です。1971年の建国以来、ドバイやアブダビを中心にUAEは急速な成長を続けてきました。UAEの首都はアブダビで、大統領もアブダビの首長が兼任しています。政治の中心はあくまでもアブダビですが、アブダビを上回る急速な経済発展を遂げたドバイは、世界有数の都市に成長しました。世界の重要な貿易拠点であり、世界中の企業が進出するドバイには超高層ビルが立ち並び、現在も日々進化し続けています。アブダビ、ドバイという近代的な両首長国に対して、他の5つの首長国は規模も小さく、どちらかというとな静かでのんびりとした雰囲気です。

首都： アブダビ
面積： 83,600 km²
人口： 449万人(2007年)
言語： アラビア語
宗教： イスラム教
一人あたりGDP： 42,349ドル(2007年)
GDP成長率： 16.5%(2007年)



出所: 外務省、アラブ首長国連邦大使館

大使館情報

所在地： 東京都渋谷区南平台町9-10
*JR渋谷駅より徒歩15分

面会者： アラブ首長国連邦大使館
モハメッド サーレム アルファラヒ 三等書記官・領事

今回お話を伺ったのは、UAE大使館のモハメッド・サーレム・アルファラヒ三等書記官・領事です。アルファラヒ氏はアブダビ投資庁(ADIA)の研修生として米国留学を経験され、その後外務省勤務を経て2005年に日本に来られたそうです。そんなアブダビ出身のアルファラヒ氏がUAEの魅力を余すことなく語ってくれました。

(2008年9月1日に訪問)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『この国どんな国？』

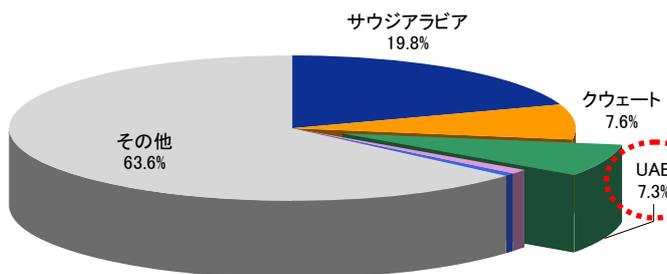
各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。



今回ご紹介する国は
「アラブ首長国連邦」

経済の概況

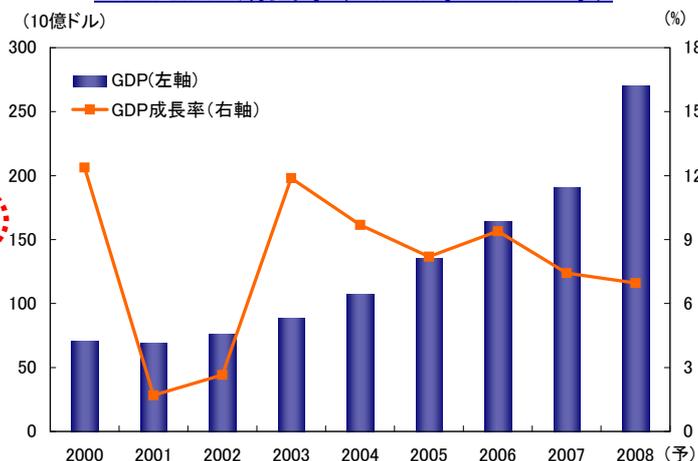
世界の原油埋蔵シェア (2007年)



UAEの原油埋蔵量は世界シェア約7.3%で、中東ではサウジアラビア、クウェートに次ぐ規模を誇ります。豊富な原油埋蔵量を誇るUAEは、原油収入によって高い経済成長を遂げてきました。

出所: オイル・アンド・ガスジャーナル誌

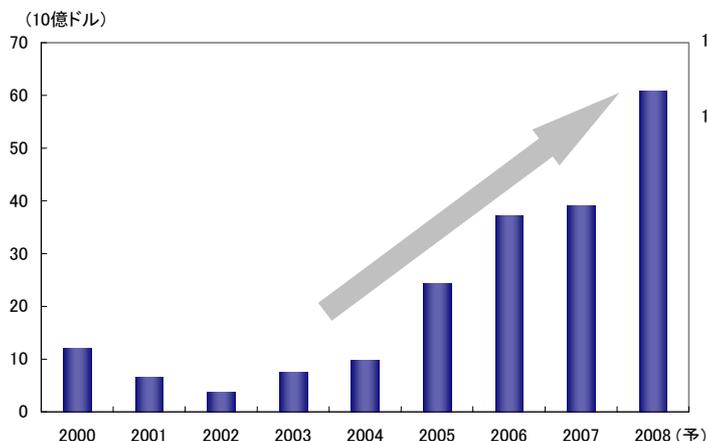
GDPとGDP成長率 (2000年-2008年)



特に2003年以降は原油価格の上昇と数多くの大規模開発プロジェクト、旺盛な国内インフラ需要、フリーゾーンの拡大などに支えられ、年平均9%近い急速な成長を続けてきました。

出所: IMF

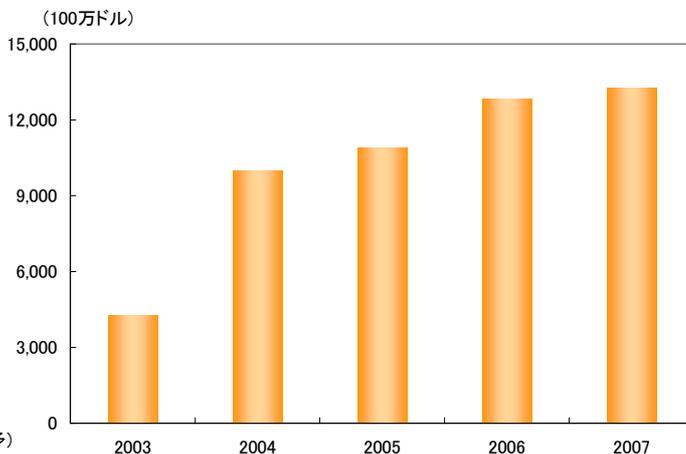
経常収支 (2000年-2008年)



UAEの経常収支は、原油価格高騰の恩恵を受け、2003年からの5年間で約8倍に達する見通しです。直近は原油価格が下落しておりますが、IMFでは原油価格が1バレル23ドル以上であればUAEは黒字を維持できると予測しています。

出所: IMF

増加する海外直接投資 (FDI) 流入額



UAE経済は好調で数多くの投資機会が存在します。加えて、恵まれた立地条件や、法人税が課されず、多くのフリーゾーンが設けられていることなど外国企業にとってメリットが大きいいため、海外からの直接投資額は年々増加しています。

出所: UAE Yearbook 2005-2008



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『この国どんな国？』

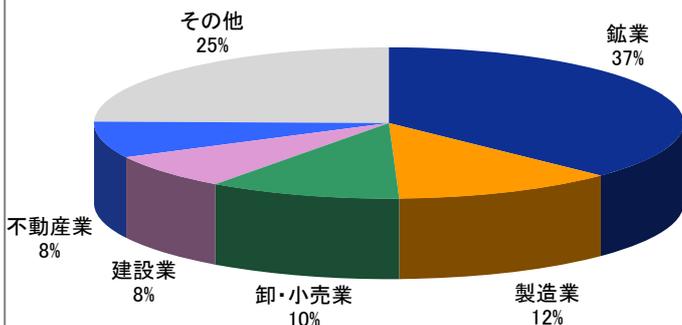
各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。



今回ご紹介する国は
「アラブ首長国連邦」

原油依存経済からの脱却

GDPの業種別構成比(2006年)



アブダビで産出される原油・天然ガスの貢献により、**鉱業がGDPの約37%**を占めています。しかしながら、ドバイでの大規模な不動産開発等の影響により、**鉱業以外の産業がGDPの約63%**と大部分を占めており、これがUAE経済の大きな特徴となっています。ドバイでは元々ほとんど原油が産出されなかったため、早くから観光、金融、ITなどの非資源産業の育成が進められてきました。その結果、現在ではこのような産業構造になっています。

出所: UAE Yearbook 2008

ドバイ・ストラテジック・プラン2015

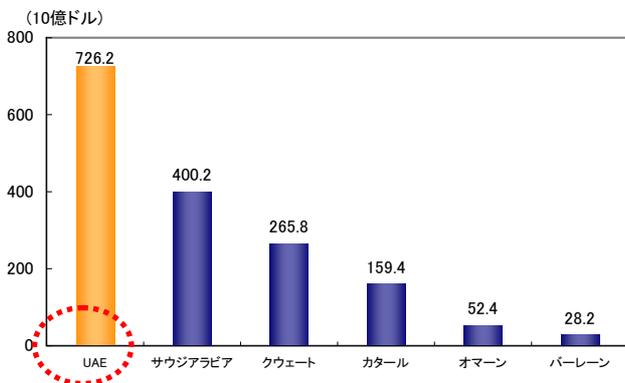
“ドバイ建設の父”といわれたシェイク・ラシッドの息子であるシェイク・モハメッドが、2007年2月にドバイの**2015年までの戦略的経済・社会政策の計画**を発表しました。計画の主な内容は以下のとおりです。

2015年までに・・・

- 年率11%のGDP成長率を維持し、2015年に名目GDPを1,080億ドルにする。
- 一人当たりGDPを4万4,000ドルにする。
- 88万2,000人の新規雇用を創出する。
- 生産性を年4%改善する。
- 金融や観光をはじめとする産業の多角化を進める。

出所: ドバイ政府

GCC諸国で計画中のプロジェクト



2015年までに上記の目標を達成するため、すでに様々な大規模プロジェクトが動き出しています。現在UAEで計画されているこれらのプロジェクトの総額は、なんと**7,262億ドル(約73兆円)**にもなります。

現在の日本の国家予算が年間約**80兆円**ですから、UAEの人口がわずか**450万人**ほどであることを考えると、莫大な金額であることがわかります。

出所: MEED



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『この国どんな国？』

各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。



今回ご紹介する国は
「アラブ首長国連邦」

UAEの風景

UAEの暮らしや発展ぶりを知っていただくには、実際に現地の様子を見ていただくのが一番です。そこで、ここからは当社の社員がUAEに出張した際に現地で撮影した写真をもとに、現在のUAEの様子をご紹介します。

ドバイ その①



実はこれ、深夜2時のドバイ国際空港の様子です。こんな時間でも世界中から訪れるビジネスマンや観光客でにぎわっている、24時間眠らない空港なのです。



出国ゲートを出ると、いきなりフロアーに数台のスーパーカーや高級バイクが展示されており、お金持ちの国に来たことを実感させられます。



恐らくドバイで最も有名な超高級7つ星ホテル「ブルジュ・アル・アラブ」です。その高さは321メートルでホテルとしては世界一の高さだそうです。ドバイの海岸に美しくそびえ立つ姿は観るものを魅了し、ドバイのシンボルともなっています。



ちなみにホテルの内部はこんな感じ、なんとも派手な作りです。各階には1人ずつコンシェルジェが配置されており、宿泊客のニーズに即座に対応できるようになっています。

各階に配置されたコンシェルジェ



なんとも芝生の美しい「エミレーツ・ゴルフ・クラブ」というゴルフ場です。日本企業の海水を真水に変える技術によって、砂漠の国でもこんな立派なゴルフ場ができるようになったのです。



クラブハウスも実にゴージャスです。昔はグリーンも芝生ではなくアスファルトでできていたようなドバイのゴルフ場ですが、今では世界的な大会が開かれるほどになっています。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『この国どんな国？』

各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。



今回ご紹介する国は
「アラブ首長国連邦」

ドバイ その②



ドバイでは今、空前の不動産建設ラッシュが起こっています。その規模は、日本の埼玉県ほどの大きさのドバイに、世界のクレーンの3割が集まっているといわれるほどです。



不動産の建設現場を良く見ると、見慣れた日本企業の名前が散見されます。ドバイや中東諸国の不動産開発においては、日本企業の高度な技術力が必要とされているのです。



市街から一步外に出ると、そこは一面の砂漠地帯です。しかし、すでに不動産会社が開発予定地として土地を購入しており、不動産開発会社の看板が立ち並んでいます。



砂漠の中でも一部ではすでに開発競争が始まっています。ちなみに、はるか遠くにうっすらと見えるのがドバイの市街地です。



完成すれば世界一の高さとなる、超高層ビル「ブルジュ・ドバイ」。2009年の完成を目標に現在建設中で、その最終的な高さは世界最高の800メートルを超えと言われています。



ちなみに模型で見るとこんな感じです。周辺のビルと比べてみると、「ブルジュ・ドバイ」の圧倒的な高さがおわかりいただけだと思います。



アラビアの伝説をコンセプトにしたウォーター・テーマパーク「ワイルド・ワディ」です。夏の気温が40℃を超えるドバイでは大変貴重な、超人気スポットです。



雪とはおよそ無縁の砂漠の国、ドバイには巨大な屋内スキー場「スキー・ドバイ」があります。中には民族衣装でスキーを楽しむ人の姿も見られます。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『この国どんな国？』

各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。



今回ご紹介する国は
「アラブ首長国連邦」

アブダビ



アブダビの最高級ホテル、「エミレーツ・パレス」です。海岸沿いの広大な敷地に建てられた豪華なホテルで、外観は壮大ながらも落ち着いて見えます。



一方、内部はご覧のとおり金色に輝く豪華な造りとなっています。ロビーでは誰しもが思わず立ち止まり、吹き抜けの美しい天井を見上げてしまいます。



ヨットハーバーから見たアブダビの街並みです。近未来的な超高層ビルが立ち並ぶドバイとは異なり、やや落ち着いた雰囲気です。



ドバイよりも緑化が進んでおり、緑が多く見られるのもアブダビの特徴の一つです。ドバイからアブダビに向かうにしたがって、徐々に緑が多くなり街並みも落ち着いてきます。



UAEの活発な不動産開発に伴って家具の売れ行きが好調だそうで、ドバイとアブダビには日本でもおなじみのスウェーデン家具製造販売の「IKEA」が進出していました。



19世紀に建てられた、アブダビで現存する最も古い建物と言われている宮殿「アル・フスン・パレス」。現在は文化財団の資料庫として使われています。

訪問を終えて

世界の貿易、物流のハブとして発展してきたドバイは早くから原油依存経済からの脱却を進め、成功を収めてきました。現在では中東地域の中心都市として、更なる発展を遂げようと日々凄まじいスピードで進化し続けています。アブダビやその他の首長国でも、ドバイの成功をモデルにした数々のビッグプロジェクトが進行中であり、またこれらの首長国間を結ぶ交通網も整備されてきていることから、今後はUAE全体が一体となった経済成長が期待できそうです。



出所：スパークス・アセット・マネジメント(株)

(これらは全て2008年10月末現在の情報です)

取材・編集：スパークス・アセット・マネジメント(株) 事業開発部



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。